

## CO2C02スマート宣言事業所（プレミアムコース）取組結果報告書添付資料

シート		提出対象事業所	備考	
<a href="#">取組結果の詳細</a>		全事業所		
<a href="#">取組項目</a>		全事業所		
<a href="#">取組結果集計シート</a>		全事業所	集計シートのデータが「取組結果の詳細」に転記されます。	
算定シート	令和5年度分	<a href="#">目標1(エネルギー消費原単位)用</a>	全事業所（選択した目標分のみ） ※省エネ法の定期報告書を作成している事業所は、定期報告書の写しの提出に替えることができます。	・算定シートのデータは「取組結果集計シート」に転記されます。 ・省エネ法の定期報告書を使用する場合には、定期報告書のデータを「取組結果集計シート」に転記してください。
		<a href="#">目標2(自動車1台当たり燃料消費量)用</a>		
		<a href="#">目標3(事業系一般廃棄物の排出量原単位)用</a>		
		<a href="#">目標4(二酸化炭素排出量)用</a>		
<a href="#">(参考)各年度実績集計表</a>		提出不要	算定シート作成時に必要に応じ御活用ください	

### 入力のルール（全シート共通）

黄色のセル⇒文字・数値を任意入力

白色のセル⇒入力不可（自動計算）

水色のセル⇒入力不可（自動計算）、報告書等への転記項目

※「取組結果集計シート」については下記のルールが追加されます

桃色のセル⇒原則入力不可（自動計算）、ただし、算定シートを使用せず省エネ法の定期報告書等から数値を転記する場合には、計算式を無視して数値を直接入力してください

第5号様式（第11条第2項）別紙

## 取組結果の詳細

### 1. 事業所の概要

（名称・所在地（市町村まで）・業種を県ホームページに掲載します）

事業所の名称と登録番号を記載し、その他の項目については変更があるもののみ記載してください。

事業所の名称	株式会社ちば		
登録番号	〇〇〇		
所在地	〒〇〇〇-△△△△	電話番号	043-223-××××
	千葉市中央区市場町◇-◇		
担当者	職名	C S R 推進課	従業員数
	氏名	千葉 須磨戸	
業種 (当てはまる)		農林水産業	金融・保険業
			②基準年度比削減率は自動計算されます。
			サービス業
			③達成度評価(HP公表用)を◎・○・ーから選択してください。

①プレミアムコース登録時に選択した目標項目について「取組結果集計シート」を作成してください。基準年度実績・R4～R5平均値が集計シートから転記されます。※算定シートを使用しない場合には、使用する数値を各セルに直接入力し、併せて使用した数値の根拠資料(省エネ法の定期報告書など)を提出してください。

### 2. 取組結果

目標番号	指標	年間削減率	選択項目	取組年数	基準年度実績(a)	目標削減率	取組結果		達成度評価(HP公表用)
							R4～R5平均値(b)	基準年度比削減率 1-(b/a)=c	
1	エネルギー消費原単位	【オフィス系】 1.5%	○	5	1.32	7.5%	1.21	8.29%	◎
		【工場系】 1%							
2	自動車1台当たり燃料消費量	1.5%	○	10	109.76	15.0%	84.23	23.26%	◎
3	事業系一般廃棄物排出原単位	1%	○	7	157.14	7.0%	148.34	5.60%	—
4	二酸化炭素排出量	2%	○	5	240.96	10.0%	197.18	18.17%	◎

※達成度評価は「◎（達成）」「○（削減量が目標値に達さないもの）」「ー（状況の変化等により、数字による単純な評価ができないもの）」の3つから事業者が自己評価するものとします。

### 3. PR項目（県ホームページ掲載用）

- 取組結果について特にPRしたい事項や、取組結果に影響した要因等があれば記載してください。実績値（数値）を記載することもできます。この欄への記載事項は県ホームページに掲載します。

<ul style="list-style-type: none"> <li>平成31年度に高効率空調を、平成32年度に照明のLED化を進めたことによりエネルギー消費、平成27年度比8.81%の削減を達成しました。</li> <li>平成31年度に営業車に電気自動車を導入したこと、配送ルートの効率化に取り組み、自動車は平成22年度比21.11%と大幅な削減を達成しました。</li> <li>事業系一般廃棄物については、来店者数あたりの排出量原単位を指標としていましたが、店舗改修のため来店者数が減少した時期があり原単位が悪化しました。オフィスにおける紙使用量の削減・簡易包装の推進などにより引き続き削減に努めます。</li> <li>二酸化炭素排出量については目標値には届かないものの9.19%の削減を達成しています。</li> <li>環境配慮型製品に関する従業員の知識を向上し、積極的な販売を行うなど、今後も事業を通じた温暖化対策に取り組んでいきます。</li> </ul>	PR項目に記載する事項については、温暖化対策に資するものに限り、1回以上は平成
---	---

### 4. 事業所URL

- 県ホームページからのリンクを希望するURLがありましたらご記入ください。

http://chibaCO2CO2.~~~~

## 5. 取組項目

登録期間中に取り組んだ項目に○を付けてください。

分類	必須項目	番号	取組項目	投資項目	選択欄
1 地球温暖化対策に向けた先進的な取組		1	2050年カーボンニュートラルを宣言している。		
		2	2030年度の温室効果ガス削減目標値を設定・公表している。		
		3	RE100を目指すことを公表している。		
		4	自主的に事業所全体で取り組む地球温暖化対策の方針・計画を策定し、共有している。		
		5	事業所の温室効果ガス排出量を算定し、その結果をホームページなどで公表している。		○
		6	事業によるサプライチェーン全体の排出量を算定し、その結果をホームページなどで公表している。		
		7	製品・サービスのライフサイクルにおける温室効果ガス排出量の見える化を行っている。		
		8	再生可能エネルギー由来の電気を購入している。		○
		9	事業所におけるエネルギー消費量のうち、50%以上の省エネルギー化を目指している。		
		10	国や千葉県が公表している環境に関する情報を積極的に入手し、事業所での地球温暖化対策に活用している。		
2 省エネルギー全般		11	専門機関による省エネルギー診断等を受診している。		○
		12	エネルギー使用量を管理し、見える化・分析を行っている。		○
		13	エネルギー・マネジメント・システム（EMS）を設置している。	投資	
		14	事業所の建物が、BELS、省エネ基準適合認定マーク（eマーク）、CASBEE等、環境性能に関する第三者認証制度での認定・認証等を受けている。	投資	
		15	太陽光発電設備・太陽熱利用設備・地中熱利用設備などの再生可能エネルギー利用設備を設置している。	投資	
		16	コージェネレーション設備を設置している。	投資	
		<b>必須</b>	<b>17 照明器具や空調機器の定期的な清掃を実施している。</b>		○
		18	給湯設備や空調設備の配管を断熱化している。	投資	

分類	必須項目	番号	取組項目	投資項目	選択欄
2 省エネルギー全般		19	ボイラーの燃焼空気量を適正に管理している。		
		20	節水機器の設置により上下水道使用量を削減している。	投資	
		21	「エコマーク」や「再生紙使用マーク」等の環境ラベルの表示がある事務用品等を優先的に購入している。	投資	○
		22	「国際エネルギースターマーク」や「省エネラベル」等を参考に省エネルギー性能の優れたOA機器等を購入している。	投資	○
	<b>プレミアム必須</b>	<b>23</b>	<b>省エネの責任者及び担当者を決め、組織として省エネの実施体制を整備している。</b>		○
		24	ノー残業デーの設定・残業時間の制限など、ワークスタイルの見直しに取り組んでいる。		
		25	テナントとの省エネ推進体制を構築している。（定例会議の開催・報告会の実施、テナントの省エネ担当者を登録 など）		
		26	テナント向けの省エネマニュアルを作成している。		
	27	テナントにエネルギー消費量・デマンド値を通知している。			
	28	テナントオーナーとの省エネ推進体制に参加している。（定例会議への参加、テナントの省エネ担当者を登録 など）			
3 削減エネルギー消費量の (照明・電力)	<b>必須</b>	<b>29</b>	<b>業務に支障のない範囲で照明の間引きや部分的な消灯を実施している。</b>		○
		30	業務に支障のない範囲で照明の消灯時間帯を設定している。		○
	<b>プレミアム必須</b>	<b>31</b>	<b>事業所内の半数以上の照明にLED照明等の高効率照明を使用している。</b>	投資	○
		32	事業所内のトイレ、給湯室、階段等、常時使用しない箇所の照明に人感センサーを導入している。	投資	○
	33	事務用機器等の省エネモード等を利用している。		○	
4	<b>必須</b>	<b>34</b>	<b>室温の適正管理（夏28℃、冬20℃を目安）に取り組んでいる。</b>		○
		35	クールビズやウォームビズを実施している。		○

分類	必須項目	番号	取組項目	投資項目	選択欄
エネルギー消費量の削減 (空調)		36	空調負荷の低減のためブラインド等を適切に活用している。		○
		37	空調の吹出口・吸込口やエアコン室外機の通風を確保している。		○
		38	高効率空調設備を導入している。	投資	○
		39	屋根面・壁面等の断熱化や遮熱化を図っている。	投資	
		40	二重窓・複層ガラス・遮熱フィルム等による窓の断熱化や遮熱化を図っている。	投資	○
5 自動車の燃料消費量の削減		41	プラグインハイブリッド自動車・電気自動車等の次世代自動車を導入している。	投資	
		42	運転を担当する従業員にエコドライブの実施を促している。		
		43	運転を担当する従業員又は従業員グループ別の燃費を把握している。		
		44	配送・配車計画の策定等により、効率的な輸送経路による運行を行っている。		○
		45	共同集荷・集配などによる積載率の向上を図るため、事業者間の連携に取り組んでいる。		
	46	従業員のエコ通勤を推奨している。(公共交通機関・自転車の利用等)		○	
6 削減 廃棄物の		47	3R(リデュース・リユース・リサイクル)に取り組んでいる。		○
		48	両面コピー、使用済みの裏紙使用、資料の電子化等により紙の使用量の削減を実施している。		○
7 森林の 保全の		49	森林の整備や保全活動に参加・協力している。		
8 緑化の 推進の		50	敷地や建物(屋上・壁面等)の植栽や緑化をしている。		○

合計	24
----	----

※登録基準：「5. 取組項目」の全50項目中、必須項目3項目+プレミアムコース必須項目2項目を含む18項目以上を選択すること。

# 取組結果報告書用

## 取組結果 集計シート

※令和6年7月31日までに提出

株式会社

取組結果の詳細に記載した事業所名が自動転記されます

※黄色のセルに入力してください

令和5年度分は算定シートから自動転記されます。省エネ法の定期報告書を用いる場合には直接入力してください。

- 登録時に、令和4年度及び令和5年度の実績を入力してください。  
令和4年度の実績については取組状況報告書から転記し、令和5年度実績については算定シートを用いて算出してください。(省エネ法の定期報告書からの転記)
- 基準年度・目標削減率・目標値等は登録時の取組計画書から転記してください。
- 最終2カ年平均値・取組結果(削減率)が第5号様式(第11条第2項)別紙「取組結果の詳細」2.取組結果欄に転記されます。

目標 番号	指標	選択した 目標	取組年数	目標 削減率 (%) ※1	基準年度 実績(a)	実績			取組結果(基準年度比削減率) 1-(b/a)=c	
	年間削減率					令和4年度 実績	令和5年度 実績	最終2カ年 平均値(b)		
1	エネルギー消費原単位	○	5	7.5%	1.32	1.29	1.13	1.21	エネルギー消費原単位	
	【オフィス系】 1.5%								8.29	%削減
	【工場系】 1%									%削減
2	自動車1台当たり燃料消費量	○	10	15.0%	109.76	94.49	73.98	84.23	自動車1台当たり燃料消費量	
	1.5%								23.26	%削減
3	事業系一般廃棄物排出原単位	○	7	7.0%	157.14	143.06	153.62	148.34	事業系一般廃棄物排出原単位	
	1%								5.60	%削減
4	二酸化炭素排出量	○	5	10.0%	240.96	216.30	178.06	197.18	二酸化炭素排出量	
	2%								18.17	%削減

※1 目標削減率=基準年度の翌年から令和5年度(2023年度)までの年数×年削減率

※2 目標値=目標項目に係る基準年度の実績×目標削減率

令和4年度から令和5年度の2カ年の平均が目標値を下回ることを目指します。

## 【目標項目1用】エネルギー消費量原単位等算定シート(令和5年度分)

黄色のセルに入力してください。熱量・CO<sub>2</sub>・原単位が自動計算されます。

(令和5年度分)

※省エネ法の定期報告書を作成している事業所は、本シートに替えて定期報告書の写しを提出することもできます。

## 1 エネルギー消費量及び二酸化炭素排出量

エネルギーの種類		単位	使用量	熱量 (GJ)	CO <sub>2</sub> 量 (t-CO <sub>2</sub> )	省エネ法の 換算係数 (単位発熱量)	温対法の 換算係数 (排出係数)	
電気	東京電力パワーグリッドからの買電※1	kWh	133,420.00	1,330.20	60.44	0.00997 GJ/kWh	0.000453 tCO <sub>2</sub> /kWh	
	上記以外※1	kWh				0.00976 GJ/kWh		
	小計		133,420.00	1,330.20	60.44			
(主な燃料)	都市ガス※2	m <sup>3</sup>	4,489.00	201.11	10.01	0.0448 GJ/m <sup>3</sup>	0.00223 tCO <sub>2</sub> /m <sup>3</sup>	
	液化石油ガス (LPG)	t				50.8 GJ/t	3.00 tCO <sub>2</sub> /t	
	灯油	kℓ	19.00	697.30	47.31	36.7 GJ/kℓ	2.49 tCO <sub>2</sub> /kℓ	
	A重油	kℓ				39.1 GJ/kℓ	2.71 tCO <sub>2</sub> /kℓ	
	小計		4,508.00	898.41	57.32			
その他	燃料	軽油	kℓ			37.7 GJ/kℓ	2.58 tCO <sub>2</sub> /kℓ	
		石油系炭化水素ガス	m <sup>3</sup>			0.0449 GJ/m <sup>3</sup>	0.00234 tCO <sub>2</sub> /m <sup>3</sup>	
		液化天然ガス (LNG)	t				54.6 GJ/t	2.7 tCO <sub>2</sub> /t
	小計		0.00	0.00	0.00			
	熱	蒸気 (産業用以外)	GJ				1.36 GJ/GJ	0.0570 tCO <sub>2</sub> /GJ
		温水	GJ				1.36 GJ/GJ	0.0570 tCO <sub>2</sub> /GJ
		冷水	GJ				1.36 GJ/GJ	0.0570 tCO <sub>2</sub> /GJ
小計		0.00	0.00	0.00				
電気+燃料+その他=合計量				2,228.60	117.76			

(A)

※1 電気事業者からの買電については、温対法に基づき公表された当該年度の調整後排出係数を入力してください。

排出係数一覧表: <http://ghg-santeikohyo.env.go.jp/calc>(温対法に基づく排出係数が公表されていない場合は、電気事業者が公表している係数、又は当該年度の代替値(例:令和2年 0.000453tCO<sub>2</sub>/kWh)を入力してください。)

※2 都市ガスはガス会社により発熱量が異なっていることから、供給を受けているガス会社に問い合わせ、単位発熱量及び排出係数を確認して下さい。

単位発熱量及び排出係数がわからない場合には、単位発熱量:0.0448GJ/m<sup>3</sup>、  
排出係数:0.00223tCO<sub>2</sub>/m<sup>3</sup>を入力してください。

## 2 事業所の活動量を示す値(エネルギー消費量と密接な関係を持つ値)

名称	延床面積
単位	m <sup>2</sup>
年合計値	1,970.35

(B)

## 3 エネルギー消費原単位

A 年間エネルギー消費量

2,228.60

B 事業所の活動量を示す値

1,970.35

エネルギー消費原単位(A/B)

1.13

## 【目標項目2用】自動車燃料消費量等算定シート(令和5年度分)

黄色のセルに入力してください。熱量・CO<sub>2</sub>・原単位が自動計算されます。

(令和5年度分)

※省エネ法の定期報告書を作成している事業所は、本シートに替えて定期報告書の写しを提出することもできます。

## 1 自動車燃料消費量及び二酸化炭素排出量

エネルギーの種類		単位	使用量	熱量 (GJ)	CO <sub>2</sub> 量 (t-CO <sub>2</sub> )	省エネ法の 換算係数 (単位発熱量)		温対法の 換算係数 (排出係数)		
燃料	ガソリン	kℓ	9.30	321.78	21.58	34.6	GJ/kℓ	2.32	tCO <sub>2</sub> /kℓ	
	軽油	kℓ	15.00	565.50	38.70	37.7	GJ/kℓ	2.58	tCO <sub>2</sub> /kℓ	
	可燃性 天然ガス	液化天然ガス(LNG)	t				54.6	GJ/t	2.7	tCO <sub>2</sub> /t
		その他可燃性天然ガス	m <sup>3</sup>				0.0435	GJ/m <sup>3</sup>	0.00222	tCO <sub>2</sub> /m <sup>3</sup>
	小計			24.30	887.28	60.28				
電気※	事業所での 充電	東京電力パワーグリッドからの買電	kWh	45.00	0.45	0.02	0.00997	GJ/kWh	0.000453	tCO <sub>2</sub> /kWh
		上記以外	kWh				0.00976	GJ/kWh		tCO <sub>2</sub> /kWh
	外部充電設備での充電		kWh				0.00976	GJ/kWh	0.000453	tCO <sub>2</sub> /kWh
	小計			45.00	0.45	0.02				
燃料+電気=合計量				887.73	60.30					

(A)

※ 電気自動車・プラグインハイブリッド車を利用する事業所については、自動車の燃料として使用した電力の使用量を把握し、記入してください。

・ 外部充電設備での充電に係る電力の排出係数は一律で0.000453tCO<sub>2</sub>/kWhを使用します。

・ 充電方法ごとの内訳が不明の場合は、全て事業所での充電を行ったものとして計上します。

・ 電気事業者からの買電については、温対法に基づき公表された当該年度の調整後排出係数を入力してください。

排出係数一覧表: <http://ghg-santeikohyo.env.go.jp/calc>

(温対法に基づく排出係数が公表されていない場合は、電気事業者が公表している係数、又は当該年度の代替値(例: 令和2年 0.000453tCO<sub>2</sub>/kWh)を入力してください。)

## 2 自動車保有台数(年度当初又は年度末の台数のいずれか)

12

台

(B)

## 3 自動車燃料消費原単位

A 年間燃料消費量

887.73

B 自動車保有台数

12

自動車1台当たり燃料消費量(A/B)

73.98



## 【目標項目3用】事業系一般廃棄物排出原単位等算定シート(令和5年度分)

黄色のセルに入力してください。

(令和5年度分)

## 1 事業系一般廃棄物排出量

排出量	単位	排出量
	kg	53,000.00 (A)

## 2 事業系一般廃棄物排出量と密接な関係を持つ値

名称	来店者数
単位	千人
年合計値	345.00 (B)

## 3 事業系一般廃棄物排出原単位

A 年間排出量

53,000.00

B 事業所の活動量を示す値

345.00

事業系一般廃棄物排出原単位(A/C)

153.62

## 【目標項目4用】二酸化炭素排出量算定シート(令和5年度分)

黄色のセルに入力してください。熱量・CO2排出量が自動計算されます。

(令和5年度分)

※省エネ法の定期報告書を作成している事業所は、本シートに替えて定期報告書の写しを提出することもできます。

## エネルギー消費量及び二酸化炭素排出量

エネルギーの種類		単位	使用量	熱量 (GJ)	CO <sub>2</sub> 量 (t-CO <sub>2</sub> )	省エネ法の 換算係数 (単位発熱量)		温対法の 換算係数 (排出係数)		
電気	東京電力パワーグリッドからの買電※1	kWh	133,465.00	1,330.65	60.46	0.00997	GJ/kWh	0.000453	tCO <sub>2</sub> /kWh	
	上記以外※1	kWh				0.00976	GJ/kWh		tCO <sub>2</sub> /kWh	
	小計		133,465.00	1,330.65	60.46					
(主な燃料)	都市ガス※2	m <sup>3</sup>	4,489.00	201.11	10.01	0.0448	GJ/m <sup>3</sup>	0.00223	tCO <sub>2</sub> /m <sup>3</sup>	
	液化石油ガス(LPG)	t				50.8	GJ/t	3.00	tCO <sub>2</sub> /t	
	灯油	kℓ	19.00	697.30	47.31	36.7	GJ/kℓ	2.49	tCO <sub>2</sub> /kℓ	
	A重油	kℓ				39.1	GJ/kℓ	2.71	tCO <sub>2</sub> /kℓ	
	小計		4,508.00	898.41	57.32					
自動車燃料等※3	ガソリン	kℓ	9.30	321.78	21.58	34.6	GJ/kℓ	2.32	tCO <sub>2</sub> /kℓ	
	軽油	kℓ	15.00	565.50	38.70	37.7	GJ/kℓ	2.58	tCO <sub>2</sub> /kℓ	
	可燃性天然ガス	液化天然ガス(LNG)	t				54.6	GJ/t	2.7	tCO <sub>2</sub> /t
		その他可燃性天然ガス	m <sup>3</sup>				0.0435	GJ/m <sup>3</sup>	0.00222	tCO <sub>2</sub> /m <sup>3</sup>
	事業所での充電	東京電力パワーグリッドからの買電	kWh				0.00997	GJ/kWh		tCO <sub>2</sub> /kWh
		上記以外	kWh				0.00976	GJ/kWh		tCO <sub>2</sub> /kWh
	外部充電設備での充電	kWh				0.00976	GJ/kWh	0.000453	tCO <sub>2</sub> /kWh	
小計		24.30	887.28	60.28						
その他	燃料	軽油	Kℓ			37.7	GJ/kℓ	2.58	tCO <sub>2</sub> /kℓ	
		石油系炭化水素ガス	m <sup>3</sup>			0.0449	GJ/m <sup>3</sup>	0.00234	tCO <sub>2</sub> /m <sup>3</sup>	
		液化天然ガス(LNG)	t				54.6	GJ/t	2.7	tCO <sub>2</sub> /t
	小計		0.00	0.00	0.00					
	熱	蒸気(産業用以外)	GJ				1.36	GJ/GJ	0.0570	tCO <sub>2</sub> /GJ
		温水	GJ				1.36	GJ/GJ	0.0570	tCO <sub>2</sub> /GJ
		冷水	GJ				1.36	GJ/GJ	0.0570	tCO <sub>2</sub> /GJ
小計	GJ	0.00	0.00	0.00						
電気+燃料+自動車燃料等+その他=合計量				3,116.33	178.06					

※1 電気事業者からの買電については、温対法に基づき公表された当該年度の調整後排出係数を入力してください。

排出係数一覧表: <http://ghg-santeikohyo.env.go.jp/calc>(温対法に基づく排出係数が公表されていない場合は、電気事業者が公表している係数、又は当該年度の代替値(例:令和2年 0.000453tCO<sub>2</sub>/kWh)を入力してください。)

※2 都市ガスはガス会社により発熱量が異なっていることから、供給を受けているガス会社に問い合わせ、単位発熱量及び排出係数を確認して下さい。

単位発熱量及び排出係数がわからない場合には、単位発熱量:0.0448GJ/m<sup>3</sup>、排出係数:0.00223tCO<sub>2</sub>/m<sup>3</sup>を入力してください。

※3 電気自動車・プラグインハイブリッド車を利用する事業所については、自動車の燃料として使用した電力の使用量を把握し、記入してください。

(「電気」として一括計上する場合には記入不要です)

- 外部充電設備での充電に係る電力の排出係数は一律で0.000453t-CO<sub>2</sub>/kWhを使用します。
- 充電方法ごとの内訳が不明の場合は、全て事業所での充電を行ったものとして計上します。

電気事業者からの買電については、温対法に基づき公表された当該年度の調整後排出係数を入力してください。

排出係数一覧表: <http://ghg-santeikohyo.env.go.jp/calc>(温対法に基づく排出係数が公表されていない場合は、電気事業者が公表している係数、又は当該年度の代替値(例:令和2年 0.000453tCO<sub>2</sub>/kWh)を入力してください。)



